



金澤北ロータリークラブ



北方領土問題について

上田 忠信



去る2月7日は、江戸時代末期の安政元年（1855）に日露両国が国境線を画定した日露通商条約調印にちなんで「北方領土の日」として、東京で北方領土返還要求全国大会が開かれました。今年には戦後60年、同条約調印150周年にあたるだけに、町村外相ら政府関係者は、領土問題解決を目指す強い意欲を示されましたが、大会に参加した元島民達からは、高齢化が進み、「もう待つのに疲れ果てた」「同僚も望郷の念を抱きながら亡くなった」など切実な訴えが相次ぎました。

私は北方領土問題は今、全国民の関心事である拉致問題以上の、重大な領土の拉致問題であると思います。敗戦を認めポツダム宣言を受託した我が国、しかも終戦してからの火事場泥棒の様な行為は絶対に認めることは出来ません。

戦後60年経った今は当時を知る者も少なくなり、国民の関心も薄らいだ様なのが心配ですので、私は語り部のつもりでお話します。

日本人が初めて北方の島々を知ったのは、今から400年近く前の「元和元年」（1619）であり、又、正保元年（1644）松前藩が幕府に提出した自藩領地の地図には、「くなしり」「えとろほ」など39の島々が書かれております。

一方ロシア人が初めて北方探検したのが、正徳元年（1711）のことですから、その100年も前から日本は北方の島々との関わりを持っていました。そしてその探検隊が作製した地図には、北方の島々が「オストロワ、アポンスキヤ」と明記されておりますが、これは「日本の島々」と言う事でもあります。この様に北方領土問題は、日本人のみが住み、日本人のみの支配下に在った、我が国古来の領土である事は一点の疑いもない事実であります。

然るにスターリンのソ連は第2次対戦の末期、昭和20年（1945）連合軍が沖縄を占領して日本の戦

局が不利となった8月8日卑劣にも、当時まだ有効だった「日ソ中立条約」を一方的に破棄して、日本に対して宣戦布告しました。そして翌8月9日ソ連軍は満州、樺太方面に進撃を開始し、我が国が無条件降伏し戦争が終わったにもかかわらず、終戦の日から3日後の8月18日未明、破撃と共に千島列島北端のシュムシュ島に上陸し、自衛の為応戦した日本軍と激戦の末、8月23日局地停戦協定が結ばれました。以後ソ連軍は島づたいに南下しウルップ島まで来ましたが、そこから一旦引き返しました。この事は皆さん、当時ソ連は、はっきりと、千島列島はウルップ島以北だと考えていた何よりの証拠であり、択捉島以南の島々を日本領土だと区別していた事を物語っています。

そして択捉島以南にアメリカ軍が進駐していないと知るや、再び南下し、8月28日択捉島、9月1日色丹島、9月2日勇利島、水晶島と上陸し、北方領土を完全に占領してしまいました。島民の一部は危険を冒して北海道に脱出しましたが、多くは苦しい抑留生活の後、日本本土に引き揚げさせられたのが真相であります。

節目の今年プーチン政権は、日本国民の悲願である「四島返還」に冷水を浴びせる様に、「歯舞、色丹の二島返還で最終決着」への立場をあらわにし始め、更に日本が二島返還を拒否すれば「永遠に一島も返さない」「日本が望む国連安保理の常任理事国入りもロシアの反対で危うくなる」と、そして更に更に驚いた事には、対独戦勝60年からんで、「ヒトラーのファシズムと同盟関係を結んだ日本に、領土を返す必要が無い」との声も公然と上がっている様にも聞かれます。

国内でも戦争で取られたのだから仕方が無いと言う意見や、拉致問題に比べると国民の関心は低いとのデータ。又、今日本が優先的に取り組むべき外交問題としての世論調査でも30パーセント弱の低さである事は残念であり、日本外交は今こそ結束を固め、返還要求の歴史的正当性を国の内外に対し辛抱強く訴え続けるべきであります。こうした歴史的犯罪の事実は決して風化させてはならないと思います。

ロータリー100周年を祝う会を終えて

幹事 濱井弘利

春一番が吹く去る2月23日「ロータリー100周年を祝う会」が香林坊ロータリークラブをホストとして石川県立音楽堂と金沢全日空ホテルで盛大に開催されました。

ロータリークラブは1905年2月23日に弁護士のポール・ハリスが米国シカゴで最初のクラブを創設し、今では世界166ヶ国 約130万人の会員を擁するまでに成りました。

本日はちょうど100年目に当たります。そのお祝いの会として音楽堂ホールにおいて一般の方々やロータリー関係者を含めて、開催当日は1,100名を超える方々の参加が有りました。

第1部の合同例会には近藤俊行2610地区ガバナーにおいていただき祝辞を頂戴致しました。

第2部のアグネス・チャン氏の講演は「みんな地球に生きる人」と題して、時折歌を交えながらの、

日本ユニセフ大使として世界各国での体験に基づく大変感動的な講演でした。

第3部のオーケストラ・アンサンブル金沢による、ロータリーの公式テーマ曲「エクモント序曲」と市内3大学の学生管弦楽団との合同演奏によるお馴染みの「新世界」よりはアンコールの出る素晴らしい演奏で、第4部の開催時間に食い込んでしまい近藤ガバナーもハラハラドキドキでした。

第4部の全日空ホテルでの懇親会には360名の登録が有り、大変遅い時間のスタートにもかかわらずほとんど欠席者も無く、1時間余りの会でしたが盛り上がり溢れた会になりました。

これから新たな100年が始まります。また会員の皆様には全員登録をして頂きありがとうございました。



第1526回例会

2月10日(木) 曇り 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

年男・今年の抱負

高島菊丸君、中田秀雄君、勝田浩之君、
木村功一君、飯田安彦君

2. 出欠

出席 40名 欠席 30名 出席率 57.14%
ビジター 1名

3. 来訪者(敬称略)

金沢東RC 吉田明雄

4. 幹事報告

- ・「四つのテスト」唱和
- ・例会終了後、理事会開催

ニコニコボックス

上田君 年男の皆さんには、ご健勝でよい年になりますよう祈っています。

濱井君 高島君、中田(秀)君、勝田君、木村(功)君、飯田君、今年の年男の抱負を宜しく願います。

高島君 年男です、宜しく。

中田(秀)君 誕生祝、ありがとうございます。今日が還暦です。

勝田君 年男、卓話聞いて下さい。

飯田君 今年の抱負の題で、スピーチを。心臓バクバクです。

前田君 誕生祝、ありがとうございました。

山上君 誕生プレゼント、ありがとうございました。ちなみに2月29日で、今年はありません。

合計 22,000円(累計 1,075,000円)

4. 幹事報告

・国際奉仕委員会事業、フューチャーキッズプロジェクトにご協力いただいた、伏見高等学校に対し、クラブよりお礼の品を贈呈。

・100周年を祝う会

2月23日(水)午後5時より合同例会 県立音楽堂にて

ニコニコボックス

金沢西RC 駒谷良雲君

本日、講話をさせていただきます。

上田君 駒谷先生には続いてのご講話ありがとうございます。又、国際奉仕委員会事業にご協力くださった伏見高校の皆様へ感謝して。

濱井君 駒谷先生をお迎えして。講話、毎回楽しみにしています。伏見高校の皆様、国際奉仕委員会事業にご協力いただき、ありがとうございます。

上野君 国際奉仕委員会事業「フューチャーキッズプロジェクト」にご協力いただいた、金沢伏見高校JRC部の皆様へ感謝です。

長谷川君 先日、フランス・パリ郊外で開かれた国際見本市に九谷焼として参加しました。でっかい会場で(産業展示館の約5倍くらい)絵付けの実演をしました。たくさんのおばちゃんたちが見てくれて、中には釉を刷りたい、絵を描きたいと言いますので「ウイウイ」と言って描かせました。もちろん通訳を通してです。

魚住君 金澤老舗百年会、俵屋さん、大村印刷さん、米澤茶店さん、浅田屋さん「のれん展」をお祝いします。

合計 25,000円(累計 1,100,000円)

第1527回例会

2月17日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

金沢高等学校 理事長 駒谷良雲氏

『教育を共育ととらえて』

2. 出欠

出席 38名 欠席 32名 出席率 54.29%
ビジター 5名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 河野良三 上山武史

金沢東RC 松本洋武

金沢西RC 辻卓 駒谷良雲

理事会報告

2月10日(木) 出席者18名

◆ 審議事項

① スマトラ島沖地震義援金の件

金沢8RC新年合同例会における募金は、百万石RCが窓口となって指定振込口座(R財団)に振り込み完了。なお、北クラブ個人として、義援金基金より15万円拠出する。

② 海外友好クラブ(韓国・全州氏)の件

更に、調査研究を進める。

③ 現代美術展後援の件

前年度にならい、社会奉仕委員会より50,000円の賞典費を拠出する。

④ その他



会長: 上田 忠信 S A A: 汐井 俊彦
会長エレクト: 高島 菊丸 会計: 木村 功一
副会長: 米沢 真二 広報委員長: 二塚 長生
幹事: 濱井 弘利 会員数: 70名
副幹事: 勝田 浩之 クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30
例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882
E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp